



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第33号
令和6年11月13日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

修学旅行に行きました(前編) 平和学習



見てください。原爆資料館内の追悼空間です。そこで6年生は平和集会を行いました。すばらしい感動を私たちに味わわせてくれたのです。

10月25、26日は6年生の修学旅行でした。私は15回目の修学旅行になります。担任として8回、校長として7回目です。(毎年、行っておられる養護教諭の稲田先生にはかないませんが笑)毎年、その年の6年生が、思い出に残る修学旅行にしてくれるのですが、今年の6年生もすばらしい修学旅行にしてくれました。新幹線で長崎市に着くとすぐに語り部さんのお話を聞きました。語り部さん方は、毎年、少なくなられます。戦争当時のことを語る事ができる方々が少なくなってくるのはとても悲しいことです。ですので少しでも多くのこどもたちに平和の尊さを伝えなければと教育者として強く思います。6年生のこどもたちは真剣に聴き、語り部さんと語り、自らの平和学習の学びを深めていました。(裏面に続きます)

その後、現地ガイドさんとともにフィールドワークを行った後に、平和集会を行ったのですが、これがまた素晴らしかった。担任の田畑先生と積み重ねてきた学びがこの場でまわりの人々に感動を与えたのです。平和集会でのこともたちの呼びかけは真剣そのもので、一つ一つの言葉に重みがありました。自分たちで考えたことがしっかりと表現された本荘オリジナルの言葉でした。凛とした声で響くこともたちの声。地階にある追悼空間が別世界になった感じでした。その後「折り鶴」という歌をうたったのですが、空間に響き渡る歌声でした。音楽の時間に井上先生としっかりと練習をしてきたのです。重みと価値のある平和集会となりました。

集会の後に資料館の担当の方が、「私も今日は担当者としてのデビューだったのですが、初めての担当が本荘小のこともたちで心からよかったです。こんな平和集会に出会えて感動です。幸せです。」と涙ぐみながら私に話しかけてくださいました。こともたちや引率の先生方にもその後に伝えたのですが、人を感動させることができるのは、人間の誠実さや真心が伝わった時だと思うのです。それだけ素晴らしい平和集会でした。

6年生はこの後、船にて伊王島に渡りおいしい夕食と楽しい一夜を過ごしたのでした。二日目の楽しい道中は次号でお知らせします。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「修学旅行初日のスナップ」



追悼空間と担当の職員の方



浦上天主堂の前で記念撮影